

バサグラン[®]・エアー1キロ粒剤

■種類名：ベンタゾン粒剤

■有効成分：ベンタゾンナトリウム塩（ベンタゾン）----- 33.0%

®=BASF社の登録商標

■登録番号：第24395号（BASFジャパン登録）

■毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

■登録初年：2020.06.10

■性状：類白色細粒

■有効年限：3年

■包装：1kg×12袋、9kg×1袋（5年）

【特長】

- 無人航空機（ドローンなど）散布に適した水稲用除草剤。
- 移植水稲と直播水稲で使用が可能。
- イネ科を除くコナギ等の一年生雑草やホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ等の多年生雑草に優れた効果がある。

【適用内容】（2024年11月末日現在）

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ベンタゾンを含む農薬の総使用回数 |
|------|--|---------------------|---------|---------|----------------------------|------------------|
| 移植水稲 | 一年生雑草（イネ科を除く） マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ | 移植後15日～ 収穫45日前まで | 1kg/10a | 1回 | 落水又はごく浅く湛水して 無人航空機による散布 | 2回以内 |
| | | | | | 落水散布又は ごく浅く湛水して散布 | |
| 直播水稲 | 一年生雑草（イネ科を除く） 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ | 稲3葉期～ 収穫45日前まで | 1kg/10a | 1回 | 落水又はごく浅く湛水して 無人航空機による散布 | |
| | | | | | 落水散布又は ごく浅く湛水して散布 | |

【効果・葉害等の注意】

- 本剤は水の移動に伴う移行性が大きく、一般に水深の浅いほど効果が安定する。
 - ◆ 使用に当たっては落水状態（足跡に水が残っている状態）にして水の出入りをとめ、まきむらのないよう均一に散布すること。
 - ◆ 水を落とすことができないところでは漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態（雑草が氷面上に出る状態）にしてまきむらのないよう均一に散布すること。
 - ◆ 散布後少なくとも3日間（浅水処理は5日間）はそのままの状態を保ち、入水はしないこと。また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないこと。
 - ◆ 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用すること。
 - ◆ 深水にすると効果が劣るので注意すること。
- 無人航空機による散布に当たっては、次の注意を守ること。
 - ◆ 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 散布に当たっては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整すること。
 - ◆ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m離れた位置からほ場内に散布すること。
 - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- イネ科雑草には効果が劣るので、田植前後の土壌処理除草剤で一年生雑草を防除した後、多年生雑草及び一年生広葉雑草の防除を目的として使用すること。
- 砂質土及び漏水のはげしい水田では使用しないこと。（減水深2cm/日以上）
- 本剤は生育期に入った雑草に効果があるが、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので必ず適期に散布すること。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワでは発生盛期から増殖中期まで、オモダカでは発生盛期から発生前期まで、クログワイでは草丈15～20cmまでが本剤の散布適期である。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤食などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをすること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。